

蚕糸絹業再生への提言

中央蚕糸協会

会 長 吉 国 隆

1. 蚕糸再生諸施策の進行(平成14, 15年度)

1) 繭生産対策

品質向上加算の創設、選除繭歩合の導入
養蚕収益性の改善

2) 養蚕文化継承地域育成事業

3 齢共同飼育と農家のコストダウン
国と地方の協調

3) 製糸対策

製糸支払基準繭価引下げ
再編整備対策
高性能小型繰糸機開発導入事業

4) 流通対策

実割輸入生糸の供用(取引所価格の乱高下防止)

2. 養蚕複合農業拡大運動

複合部門として安定収入源
養蚕廃業農家の復帰
農業改良普及組織の協力体制

3. 蚕糸と絹業の連携強化

横割分業の現状—コスト優先、在庫リスク、高マージン
縦の連携による製品作りの例
繊維産業のヴィジョン(産業構造審)—サプライ・チェーン・マネージメント

4. 素材明示型流通への道

「日本の絹」マークの制定と普及、絹消費促進協議会

素材・原価明示注文販売方式の探究

5. 国際協力

海外の養蚕振興熱

日本の技術、日本蚕種への期待

我が国蚕糸業との関係―技術者実践の場、共同資材調達

6. I S A国際絹業大会

生糸品質問題への関心

規格・検査法をめぐる論議

7. 蚕糸技術基盤の確保

農業教育における蚕糸学

技術研修の場

現場技術の開発研究